

不妊・病気・仕事・家庭・タイミング。子どもが欲しいのに持てなかった
100人以上の本音を明らかにした初めての本！

『誰も教えてくれなかった 子どものいない人生の歩き方』

2017年12月6日(水) 全国の書店・ネット店にて発売

子どものいない人は、3人に一人。新たな大人の時代へ

いまなお、「結婚⇒妊娠・出産⇒子育て」がスタンダードだという風潮があり、政府のワークライフバランスも、そのコースを軸に考えられているのが実状です。一方で、子どものいない人の数も急増していますが、その本音が表に出ることは少なく、その理由や気持ちを声高に語る機会もありませんでした。それがあまりにもセンシティブで個人的な問題だったからです。

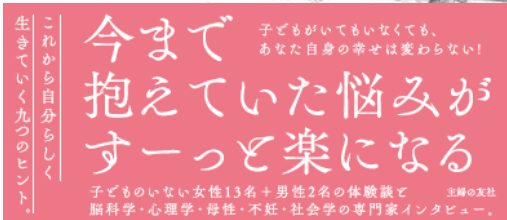
本書では、自身も病気子どもをあきらめた著者が、100人以上に取材やアンケートを行い本音をまとめた、日本で初めての書籍となります。また、脳科学の黒川伊保子氏や社会学の千田有紀氏など、5人の専門家による最新研究も紹介。

生き方が多様化しても、自分たちの中に刻み込まれた古い価値観は変わらず悩んでしまう…。そんな方々に向けて、15人の体験談、専門家、著者の提言から、今後を自分らしく生きて行くヒントのみつかる1冊です。

子どもの有無で脳が違う！ 母性、不妊、心理、社会学にも切り込んだ一冊

専門家5人の最新研究もご紹介！

- ★脳科学では
「子どものいない女性は公平脳、子どものいる女性はアンフェア脳」
(黒川伊保子先生)
- ★母性研究では
「子どもがいないから母性が持てないわけではない」
(大阪医科大学 佐々木綾子教授)
- ★不妊研究では
「40代半ばで妊娠・出産できるのは本当にレアなケース」
(東京工科大学 野澤美江子教授)
- ★社会学では
「女の人自身が産めない自分を責めている」
(武蔵大学 千田有紀教授)
- ★心理学では
「子どもを持てなかった思いを語ることは癒やし効果につながる」
(立命館大学 安田裕子先生)



『誰も教えてくれなかった 子どものいない人生の歩き方』

著者：くどうみやこ

価格：本体1,300円+税

発売日：2017/12/6

四六判：1C224P

ISBN：978-4-07-427550-2

取材お待ちしております！

くどうみやこ

大人ライフプロデューサー／トレンドウォッチャー
大人世代のライフスタイルからマーケティングまで、時流やトレンドをとらえた独自の視点で情報を発信。メディア出演から番組の企画、商品のプランニングやキュレーション、執筆、講演など、活動の幅は多岐にわたる。
近年は、子どもを持たない大人のマーケットに着目し、子どもがいない女性を応援する「マダネ プロジェクト」を主宰。自分らしく自由で穏やかに過ごすライフスタイルを理想に掲げ、新たな価値観や生き方を提唱。これからの大人スタイルを追究している。著書に『商品PRのやり方が面白いほどわかる本』（中経出版）がある。
くどうみやこ オフィシャルサイト
<http://www.kudo-miyako.com/>
マダネプロジェクト <http://www.madane.jp/>

「子どもがなくて感じる」
あるある

子どもがいる友人との距離感

親に孫を見せられない申し訳なさ

産んだほうがいいのかというプレッシャー

「子どもを持たなかった理由」
あるある

育てる自信がない

努力したが授からなかった

タイミングを逃した

「言われて傷ついた言葉」
あるある

「子どもがいないと自由でいいよね」

「産んでいないあなたにはわからない」

「子どもがなくてかわいそう」

本件に関するお問い合わせ先

株式会社主婦の友社 販売部企画推進課(広報・宣伝)

TEL：03-5280-7577 FAX：03-5280-7578 pr@shufunotomo.com